

学校をきれいにするために 9/7日（木）高知新聞「読もっか」の記事より

私たち中村南小の美化委員会は、三つのことをがんばっています。



児童・職員も美化意識！を！



地域のみなさんもお協力いただいています！



一つ目は、朝早く起きて、学校近くの道に落ち葉をはいています。美化委員全員が毎朝10分間、がんばってそうじをしています。

二つ目は、掃除がない日に、場所を分担し、美化委員だけで校内のそうじをやって

います。そうじをしていると、先生や他の友達から「ありがとう。おつかれさま」と言ってもらい、やってよかったなあとうれしい気持ちになります。

三つ目は、気付いたことやそうじの評価を全校の前で美化委員全員が言いました。何度も言うことがあって、きんちょうしたけど、言いたいことが伝わると、大きな声で発表でき

たんだなと思いました。何をやっても、達成感があったので、これからも一生けん命がんばりたいと思います。

校長より：美化委員さんの活躍は職員会でも話題になります。一つ目の落ち葉掃きはその日の落ち葉の量を主体的に判断し活動してくれています。二つ目の「掃除」は、年間を通して水曜日と特別校時の日は掃除がないので、玄関・廊下・階段などを昼休みに掃除をしてくれています。職員会では、美化委員さんは「仕事量が多く遊ぶ時間も少なくなるので掃除は少なくしてあげたらいい」という考えなのですが、子ども達は自分達の成長のためにやると言って継続しています。このような子ども達の考え方や行動力に私たちもビックリしています。

一学期のワックスがけでもこんなことを思い出しました。前日の準備に、担当の先生が準備している姿を見て、美化委員さんが「準備のやり方が分かる」と言って進んで手伝ってくれたそうです。子ども達の中には、日常的に一つひとつのことを徹底して取り組むことで、周りの状況を把握しどの様な行動を取るべきかを判断し実行に移す力が育っています。委員会活動も教育活動の一環ですが、一つ一つの教育活動が連動し合い成長に繋がっていると考えます。

その他にも環境整備の活動では、環境委員が日々流し台を点検し掃除をして気持ちのいい状態を保ち、牛乳パックの整理や回収に努めてくれています。また、「放送・生活・図書・保健・体育・給食」の各委員さんもいつも活発に取り組み、学校運営に大きく貢献し関わってくれています。

2

IV 集団や社会のかかわり
社会の役に立つ

だれか困っている人がいたら
もし助けを求めている人がいたら
なんとかしよう、なんとかしたいと思うのが
人間の気持ち。
わたしたちの力はわずかもしれないが、
きつとたれかの役に立てるはず。
だから考えてみよう。
わたしたちができることを。
社会への奉仕やボランティア活動
すべての人の幸福のために、社会をよりよくするために
役に立つことを。



ちょっとしたボランティア
社会に役立つことを通して
自分も成長できる。

高知の道徳

P 5 4